

平成21年11月11日

各位

会社名 常磐開発株式会社
 代表者名 代表取締役社長 佐川 藤介
 (JASDAQ・コード番号 1782)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 榊原 清隆
 TEL. 0246-72-1111

平成22年3月期第2四半期連結累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年3月期第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)の業績予想について、平成21年5月13日付「平成21年3月期決算短信」にて公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期第2四半期連結累計期間業績予想の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)
 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	4,500	△355	△370	△380	△48.41
今回予想(B)	4,065	△361	△375	△383	△48.80
増減額(B-A)	△435	△6	△5	△3	△0.39
増減率(%)	△9.7	-	-	-	-
(参考)					
前期実績(平成21年3月期第2四半期)	4,707	△295	△299	△289	△36.89

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間において、当社グループと関係の深い建設業界におきましては、更なる建設投資の縮小と競争激化の中で、引き続き厳しい受注環境で推移いたしました。

このような厳しい経営環境の中、個別の業績につきましては、売上高、利益面ともに予定通り推移しております。しかし、連結の業績につきましては、当社グループ会社において、当初第2四半期の売上計上を予定しておりました一部建築工事4億50百万円(建設事業)の受注時期が遅れた影響により、売上計上時期が下期へずれることとなりました。その結果、売上高につきましては、40億65百万円(前回予想比9.7%減)となる見込みであります。利益面につきましては、前述の売上高の減少がありますが、当該工事の利益率が低いこと及び、その他の連結子会社の当第2四半期連結累計期間の売上総利益が増加したこともあり、営業損失3億61百万円(前回予想比6百万円減)、経常損失3億75百万円(前回予想比5百万円減)、四半期純損失3億83百万円(前回予想比3百万円減)となる見込みであります。

なお、当該工事につきましては、平成 22 年 3 月期の売上計上となることから、現時点において通期業績への影響はありません。

3. 平成 22 年 3 月期通期業績について

今後の当社グループの業績につきましては、昨今の経済環境の不透明感が強く、予断を許さない状況が続くものと思われます。特に建設事業及び環境事業においては、民間建設投資の縮小に伴い、同業他社との価格競争が更に厳しくなると予想されるため、期末までの受注状況を見極めるには時間を要することから、現時点におきましては、平成 21 年 5 月 13 日付「平成 21 年 3 月期決算短信」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績修正の必要がある場合には、速やかに開示をいたします。

4. その他

1 株当たりの期末配当金予想額（5 円 00 銭）は従来通り変更ありません。

以上